

氏名： 三浦 徹 (MIURA Toru)
所属：
職名： 理事・副学長
学位： 文学修士 (1986 東京大学)
専門分野： 歴史学 (特にアラブ・イスラム史)、都市研究、中東地域研究
E-mail： miura-t@pis.bekkoame.ne.jp

◆研究キーワード / Keywords

都市／中東／イスラム／契約／比較
city / Middle East / Islam / contract / comparative

◆主要業績

総数 (3) 件

- ・「架橋する法：イスラーム法が生まれる場合」林信夫・新田一郎編『法が生まれるとき』創文社、2008,pp.259-283
- ・「比較アーカイブズ学の可能性」渡辺浩一編『歴史的アーカイブズの多国間比較』岩田書店、2009
- ・「高校生・大学生の中東・イスラーム理解と世界史教育」『歴史と地理：世界史の研究』215、2008年5月、pp.60-65

◆研究内容 / Research Pursuits

1. 人間文化研究機構プログラム「イスラーム地域研究」東洋文庫拠点「イスラーム地域研究史資料の収集・利用の促進とイスラーム史資料学の開拓」の拠点代表者として、研究事業の総括を行った。
2. イスラーム地域研究「クアラルンプール国際会議」において、日本の中東・イスラーム研究の現状について、報告を行った。
3. 科研費基盤研究「歴史的アーカイブズの多国間比較に関する研究」(08年度終了)の研究を国文学研究資料館の連携研究として継続した。

◆教育内容 / Educational Pursuits

1. 文教育学部比較歴史学コースおよびグローバル文化学環の3－4年生を対象とする演習（ゼミ）において、『イスラーム地域研究叢書』（東京大学出版会、全8巻）をテキストとして、「中東から現代世界をみる」をキャッチフレーズに、政治・経済・宗教・文化の諸問題にわたる越境的な理解が深まった。
2. 「地域研究方法論」では、地域研究に係わる論文の講読、発表、質疑を通じて、学際研究としての地域研究の方法を体験した。「考えることの面白さがわかった」と好評であった。
3. 「文理融合リベラルアーツ」科目群を運営し、学生のアンケートやFDシンポを通じて、リベラルアーツの位置づけを明確にした。大学教育学会関東部会などで報告を行い、学外での意見交換を進めた。

◆研究計画

地域と歴史についての理解には、比較研究が必要であるが、個々の研究者個人ができる範囲は限られており、共同研究が必須となる。これまで、「都市」「契約・裁判」などをキーワードに共同研究を進めてきた。近年は、史資料のあり方（書式・保存・管理）自体に当該地域の社会システムが映されているというアーカイブズ学の比較研究の方法（外形的な比較）にも関心ももっている。また、アンケート調査などによる統計的社会分析の方法や理論を歴史研究に応用することにより、横断的な歴史社会の比較ができないかと考えている。

◆メッセージ

「お茶生は質が良い」と外部の講師の方がよく言います。内に秘めた力は、たしかに高いものがあります。印象的なのは、毎回の授業終了時に提出する「コメント」です。限られた分量と時間にも関わらず、的確な質問や感想や意見が書かれていて、誤字脱字の少なさとともに、その精度に舌をまきます。授業中でもドンドン手があがるようになるといいのですが。伸び伸びと学べる場所にしたい、と念じています。